

記入例
青字：記入箇所

提出窓口・郵送先・お問い合わせ先
【住所】〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
長野市役所 第二庁舎7階
建築指導課 空き家対策室
【電話】026-224-8901

様式第8号（第8関係）

令和〇年〇月〇日

（宛先）長野市長

申請者 住所 **長野市大字鶴賀緑町1613番地**
氏名 **長野建築**
連絡先（電話） **026-224-8901**

長野市空き家解体・利活用事業変更承認申請書

令和〇年〇月〇日付け〇建指第〇〇-交〇〇〇号の補助金交付決定に対して、次のとおり変更したいので、長野市空き家解体・利活用事業補助金交付要綱第8の規定により申請します。

記

1 事業の種類

老朽危険空き家解体事業 ・ 空き家解体跡地利活用事業

2 変更の内容

補助金交付申請額の変更
変更前：¥〇,〇〇〇,〇〇〇円
変更後：¥△,△△△,△△△円

3 変更の理由

契約後に解体する建物の建材について、アスベスト含有調査を実施したところ、アスベストの含有が判明したため、解体工事費が増額となるもの

4 その他

添付書類
第7条第2項に掲げる書類のうち、当該変更に係るもの

窓口に提出する日付を記入
※郵送は投函する日付を記入

申請者の住所、氏名、電話番号を記入
※通常は補助金交付申請者と同一
※電話番号は日中に連絡がとれるものを記入（携帯電話番号など）

長野市から通知のあった「交付決定通知書」に記載された「通知日」及び「番号」を記入

老朽危険空き家解体事業を〇で囲む

交付申請した内容（交付決定を受けた内容）のうち、変更する内容を記入
※記入例は補助金交付申請額の変更の場合

変更する理由を具体的に記入
※記入例は解体工事費が増額となった理由

交付申請の時に添付した書類のうち、変更する内容に該当する書類を添付
※記入例の場合は「解体工事の見積書の写し」の添付が必要です

変更内容の例

※例1: 解体工事業業者の変更と補助金交付申請額を変更する場合

【変更の内容】

①解体工事業業者の変更 当初：〇〇〇〇〇〇工事店 変更：△△△△△△商会 所在地 △△△△△△ 電話番号△△△-△△△-△△△△ 許可番号 △△知事△△△△△号	②補助金交付申請額の変更 変更前：¥〇,〇〇〇,〇〇〇円 変更後：¥△,△△△,△△△円
---	--

【変更の理由】 本契約の前に、解体工事の見積りを別の業者にも依頼し、内容を比較したところ低価格で解体工事が実施できる業者があり、その業者と契約したいので変更するもの
また、このことに伴い、解体工事費が減額となるもの

【添付書類】 解体工事の見積書の写し

※例2: 申請者を変更する場合

【変更の内容】 申請者の変更 変更前：〇〇〇〇 変更後：△△△△

【変更の理由】 〇〇〇〇が死亡したため、相続人の△△△△に変更するもの

【添付書類】 変更の理由を証明する書類（除籍住民票等）、市税の滞納がない証明書、所得証明書、誓約書、同意書など

※その他、申請者の住所が変更になった場合など、変更承認申請が必要です。
詳細については建築指導課までご連絡ください。